
可憐な華が咲くように

姫月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

可憐な華が咲くように

【Nコード】

N0175H

【作者名】

姫月

【あらすじ】

ピッカピカの高校1年生・楓と転入生・竜の学園ラブコメディーある日、楓はK高校からの転入生・竜に出会う。楓にいつもドキドキの竜、そんな2人の出会いとは!?

プロローグ〜二人の出会い〜（前書き）

この物語に出てくる人物や場所の等の名前はすべてフィクションです。

プロローグ〜二人の出会い〜

楓

『おっはよー』

元気な声がクラスに響く。

私の名前は

東堂 楓<とうどう かえで>

泉川高等学校に通う

ピッカピカの一年生

梓

『よう！楓、今日はいつもより早いんじゃない？』

この男言葉を使ってるのが泉川高校で一番の運動神経を誇るスポーツ少女

森本 梓<もりもと あずさ>

由唯

『おはよう、楓』

そしてこのコが泉川高校イチの秀才

花代 由唯<はなしろ ゆい>

二人とも中学からの親友なの

楓

『おはよう』

そうかな〜エヘッ』

梓

『どうしたんだ；
ついに壊れたか？！
最近、変だなあとは思ってたけど…』

楓

『ひどっ 違うもん！』

由唯

『ああ〜わかった！
アレでしょ？』

梓

『アレ？…ああ！アレか
例の転入生だろ？』

由唯

『男子だって、噂だよねえ〜』

楓

『転入生？何のこと？？』

梓

『おいおい；

まさか知らなかったとかいわねーよな？』

楓

『全っ然知らなかった！』

梓

『ダメだこりゃ…』

由唯

『今日K学校つてところから男子が転入して来るって話だよ』

楓

『ふうくん…』

梓

『なんだよ、その興味なさそうな返事は』

楓

『だって興味ないもん』

梓

『ああ、あ、

やっと楓にも春が来たと思ったのによ』

楓

『春って？』

梓

『もーいいよ。』

そのうちお前にもわかる時が来るさ…

なっ、由唯』

由唯

『そうかなあ？』

鈍感な楓ちゃんにはいつまで経っても来なかったりして…』

梓

『それ有り得るかも』

楓

『?????』

梓

『つか、お前さ

転入生のことじゃなかったら
何をそんなに嬉しそうにしてんだ?』

楓

『それがね

昨日たんすの裏掃除してたら
でてきたの』

由唯

『何が?』

梓

『どうせ、十円とかだろ?』

楓

『うっん。

なくしてた、ドリンクスト』

梓

『ゲームかよ!

しかもたんすの裏からって…』

由唯

『はは、なんか楓らしいかも』

梓

『まあ、コイツらしいっちゃ〜らしいけどな』

キン〜コン〜カン〜コン〜

由唯

『チャイム鳴ったから席戻るね』

梓

『オレも席戻るわ!』

二人とも戻っちゃった

ホームルームが始まる

先生

『それでは今日は転入生を紹介する。
入って来い、蓮城』

さらさらした髪で

すらっと高い背い男の子が入って来る

蓮城

『蓮城 竜です。よろしく...』

先生

『蓮城は東堂の隣に座ってくれ』

先生が私を指差す

蓮城は指差された楓の隣の席に腰をおろした

蓮城

『…』

緊張しているのかずっと俯いている蓮城^{カレ}

楓

『大丈夫…？』

蓮城の顔が赤くなり

蓮城

『ただっ、大丈夫だ…』

(なんなんだ?!この気持ち…)

楓

『ホントに大丈夫!？』

顔赤いよ、熱でもあるんじゃない…』

蓮城に近付く楓

蓮城

『ほ、本当に大丈夫だから…』

楓

『そっ?ならよかった私、東堂楓。
よろしくね』

私は手を出した

蓮城

『よろしく… / /』

恥ずかしそうに蓮城^{カレ}は握手をしてくれた

プロローグ〜二人の出会い〜（後書き）

この物語を楽しんで読んでいただけたら光栄です（* > < *）こ
れからもどうぞよろしくお願いします

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0175h/>

可憐な華が咲くように

2010年10月24日01時58分発行